

2020年6月3日

祈禱会の皆様、

おはようございます！（夜の祈禱会の皆様、こんばんは！）

祈禱会の時間です！

【テーマ】「追加の知恵」-④愚かな言葉-

【聖書のみ言葉】箴言 24:28-29 を読みましょう。

【テキストの解説】

この聖句は、悪意ある証人にならないようにという勧めと、復讐してはならないという勧めが結び合わされている御言葉です。律法では、事件の直接的な目撃者には、証人として裁判で証言する責任がありました（レビ 5:1）。しかし、「根拠を持たない証人」（28）とは、この律法のシステムを悪用して、個人的な復讐心を満たすために（29）、事実でもない言葉や、事実を曲げる言葉をもって、裁判官や長老たちを「惑わそうとする」人のことであり（28）、「率直に答えをする者」（26）とは正反対の人です。

この聖句には、これらの勧めの理由が記されていません。なぜなら、神は正義を必ずなして下さるという信仰の前提に立っているからです。律法は、個人的な復讐ではなく公的な裁きとして、「目には目を、歯には歯を」を許していました（レビ 24:19-20）。そして、傷ついた人であっても、個人としては隣人を愛し（レビ 19:18）、正義である主に裁きを委ねるように聖書は教えています（箴言 16:5-6）。主は幾つかの方法をもって正しい裁きをなされる方です：1) この世の摂理のうちに（詩篇 37:14-15）、2) 公的な裁きを通して（ローマ 13:3）、3) 特別な介入をもって（出エ 15 章）、4) 終末の裁きによって（2 コリント 5:10）。そのため、人は復讐心を主に委ね、むしろ、悪をもって悪に報いるのではなく、イエスの十字架の愛によって悪に打ち勝つように招かれています（ローマ 12:19-21；1 テサロニケ 5:15）。

【適用】

悪を一方向的に受けて傷ついている時、私たちの内にも仕返しのお思いが生じることがあるかもしれません。しかし、主は正しい裁きをなさる方です。私たち自身、主イエス様の十字架によって罪赦して頂いています。だからこそ、どんなに傷ついている時でも、私たちもイエス様の愛によって、まっすぐな、正しい言葉を語るように、主に助けて頂きましょう。

【祈り】 下記の祈りの課題を覚えて祈りましょう。その他にも個人的な祈りの課題がありましたら、祈りましょう。

ありがとうございました！また次週の祈禱会に配信します！

百合丘キリスト教会

川井信雄

（「祈禱会の時間です！」の受信をご希望の教会員の方には転送して下さい。その他の方で、通常祈禱会に来て下さっている方にもどうぞ。その際、次回直接メールできるように、私にも CC して頂ければ感謝です。）